

競技規則並びに競技上の注意

I 競技規則

- (1) 本大会は、2026年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則及び本大会の申し合わせ事項で行う。
- (2) 競技時間については、男女とも25分－10分－25分、タイムアウトは前後半3回とする。
- ①規定の時間内で勝敗が決しない場合、決勝以外は第1延長、その後7mTCを行う。
- ②決勝は第1延長、第2延長まで行う。それでも決しない場合は7mTCを行う。
- ③7mTC等で試合終了が遅延した場合でも、次の試合は競技日程通りのスローオフとなる。ただし、大幅に遅延した場合は協議の上、調整する場合がある。
- (3) 試合球、競技会場は次の通りとする。
- ①試合球は男子2号球、女子1号球とし、(公財)日本ハンドボール協会検定球（モルテン d60シリーズ）を使用する。
- ②競技会場について

日付	回戦	会場・広さ
10月3日(土)	男女 1回戦・代表決定戦・敗者戦	A・B・Cコート（ともに40m×20m）
10月4日(日)	男女 決勝戦・代表決定戦	A・Bコート（ともに40m×20m）

2 競技上の諸注意

- (1) アイマスク・コルセット・プロテクター等を身につけたい場合
- ①日本ハンドボール協会が定める「服装や保護を目的とした装具に関する規定」に準ずる。
- ②装具は初戦のコイントス時に持参し、当該審判員・TDの確認を受ける。
- ③競技時のコルセットは、ユニフォームの中に入れる。
- (2) 各チームのトレーナー帯同について
- ①トレーナー席での写真や動画撮影、選手への指示は禁止とし、IDカードをつけてベンチ後方の席に座る。
- (3) 技術的機器について
- ①日本ハンドボール協会が定める「交代地域に持ち込み可能な技術的機器に関するガイドライン」に準ずる。
- (4) チーム役員・ユニフォームの変更について
- ①事前に提出されたチーム役員・ユニフォーム変更届に記載されたもので、競技委員長が承認したものに限る。
- ②チーム役員・ユニフォーム変更一覧（2日17時時点）は大会初日の受付にて配付する。それ以降は、公式記録用紙にて確認する。

【試合前の確認】

- (1) トス・ユニフォームおよび登録証の確認について
- ①第1試合は試合開始30分前、第2試合以降は前の試合の前半終了直後に、ジャッジーズテーブル前にて行う。

- ②代表者は CP・GK 登録ユニフォームをすべて持参し、審判員・テクニカルデレゲート(以下 TD)・マッチオフィシャル(以下 MO)の許可を得る。
 - ③ベンチ入りする選手とチーム役員の登録証(トレーナー除く)を持参し、TDに提出する。選手証忘れ、未記載や写真添付がないなど不備があった場合、いかなる理由があっても出場は認めない。
 - ④トレーナーを帯同する場合は、その旨を審判・TD・MO および相手監督に伝えること。
- (2) 選手の服装等について
- ①ユニフォームの外にアンダーウェアが出るようであれば、ユニフォームの基調色と同色でなければならない。着用しない選手にあってはその限りではない。また、基調色以外にユニフォームに使用されている色のアンダーウェアの着用が認められる。その場合、試合前に認められたチームで統一された色でなければならない。
 - ②ソックスの色は、チームで統一すること(メーカーのロゴは問わない)。
 - ③ハチマキは結び目より先を短くし、長い髪は危険のないように結ぶこと。
 - ④両面テープのみ使用を認める。松ヤニ及び松ヤニスプレーの使用は禁止する。違反した場合は、失格の処分を受けることもあり得る。
 - ⑤金属・プラスチック製のピンは使用できない。また、プロミスリングは、外すかテーピング等で覆う。
 - ⑥爪は相手に傷をつける要因となるため、きちんと切っておくこと。

(3) チーム役員の服装等について

- ①服装の上着の色は、相手チームのユニフォームと同色のものは着用できない。コイントス時に相手のユニフォームの色を確認し、同色の場合は試合開始前までに対応すること。
- ②試合中の言動は指導者として節度あるものとなるようにする。状況により競技部より注意指導を行う。

【試合開始前の確認】

(1) ベンチの人数等について

- ①監督1名、役員4名及び選手16名とする。選手16名については、公式記録用紙に記載されている20名の中から、試合毎に変更をすることができる。
- ②チーム責任者は役員表示「A」、その他役員は役員表示「B」～「E」をつけなければならない。
- ③チーム責任者だけがタイムキーパー・スコアラー・TD、可能であればレフェリーと話すことができる。
- ④トレーナーがいる場合は、ベンチ後方のトレーナー席に入ることを認める。IDカードを着用する。なお、競技中に選手を処置する際は、ベンチ後方またはトレーナー席にて対処する。

(2) 公式記録用紙について

- ①試合開始前、監督(役員A)はジャッジズテーブルに行き、公式記録用紙に記載されている選手16名以内とチーム役員5名以内を確認しサインをする。なお、ベンチに入らない選手またはチーム役員など当日抹消選手または役員がいる場合は、該当氏名に朱書きで取り消し線を引くこと。
- ②試合終了後にレフェリー・TD・MO が記録用紙を確認して、サインすることによって公式記録が成立する。

(3) 公示時計(加算式)を使用し、タイムアウトはホーンで、試合終了の合図もホーンで行う。

ただし、ホーンが聞こえにくい場合は、TD の笛の合図で対応する。

(4) 電光掲示板について

- ①チーム表示は、トーナメント若番が左側で表示となる。そのため、前後半で左右の表示を入れ替えない。
- ②退場者の再入場については、公示時計及び退場者タイマーを見て行う。

(5) タイムアウトカードについて

チームタイムアウトは請求カードをジャッジズテーブルに届いた時点で認める。

【競技中の確認】

(1) 試合の入退場時について

- ①入場はサイドラインから中央に向かって一斉に入場し、審判の指示に従いあいさつをする。
- ②試合終了後の挨拶後については、相手選手とハイタッチして、互いの健闘を称えながら相手ベンチに向かうこと。

(2) 交代地域のコーチングゾーン規定について

- ①各種の指示をするために1名が立つことが許される。
- ②センターラインから 3.5m の位置を始点とし、アウターゴールラインから 8m の位置を終端とする。

(3) 試合に途中出場するためのアップについて

ベンチ裏のスペースのみとし、ボールは使用することはできない。

(4) 給水について

- ①試合前後・競技中・ハーフタイム・チームタイムアウト時の給水はコートの外で行うこと。
- ②床が濡れた場合は速やかに雑巾できれいに拭き取ること。（事前に各チームで雑巾を準備）
- ③キャップタイプの水筒、スクイズボトル、ペットボトル等で蓋付きのものを使用すること。

(5) ハーフタイム中について

荷物を速やかに移動してから給水等を行うこと。

(6) 試合終了後について

ベンチの荷物を速やかに撤収し、ごみを拾い、濡れた場所をきれいに拭いておく。